

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21129
課題名	高度肥満小児の臨床的特徴と遺伝的・環境的因子による影響についての検討
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2026年 3月 31日
研究の対象	旭川医科大学小児科内分泌外来に肥満症で通院されている方。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：性別、年齢、出生時背景（在胎週数、出生身長・体重）、家族歴や生活習慣などの情報、外来初診時の身長・体重、血圧、血液検査データなど） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	<p>子どもの肥満には、生活習慣だけでなく、胎内環境や幼児期の成長のパターン、遺伝の影響など、さまざまな要素が複雑に関連し合っています。これらの関連を調べることで、子ども一人ひとりの背景に合わせた肥満予防が可能になり、将来的な成人病の予防につながります。</p> <p>また、海外の研究結果から、MC4R 遺伝子などの遺伝子変異による肥満の存在が知られるようになってきました。重度肥満の小児のうち数%にみられるという稀な疾患ですが、糖尿病の発症リスクが比較的高いなどの特徴がわかってきています。日本人の小児でこの遺伝子異常を調べた研究はまだ少なく、本研究でその実態を評価することで、遺伝的背景も考慮した肥満治療を可能にする手助けとなります。</p>
研究の方法	<p>当科内分泌外来に通院されている小児肥満の患者さんを対象に、初診時の診療録（カルテ）を見直し、必要なデータを収集します。得られた多数のデータをもとに、臨床経過を検討する統計解析を行います。</p> <p>また、肥満に関する遺伝子検査を受けたことがある患者さんについては、その結果についてのデータも収集・解析します。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

旭川医科大学 小児科学講座

講師 鈴木 滋

TEL : 0166-68-2481